

在鸣门 2022 年 7 月 总第 181 期

来到鸣门之后，感觉这里一直都有鲜花盛开，本以为到了盛夏，花儿会少一些，没想到依然不断的有盛开的花朵。在这里，选择两种和大家一起分享一下。

7月からは真夏日を迎えます。赴任してから、鳴門にはいろいろな種類の花が咲いていると感じています。夏になると少なくなると思っていたのですが、あちらこちらの花々が咲き続いています。今回は皆さんに花について話したいと思います。

首先是鸣门的市花黄槿。黄槿是一种小乔木，树高 1-5 米，花期为 7-8 月，开花时间只有 1 天，之后会枯萎掉落。刚开始对开花时间只有 1 天的这个描述有些疑问，直到前几天，在同一个地方连续 2 天拍摄开花中的黄槿，才发现真的是这样。每天都有花儿盛开，每天都有凋落。在观察的时候，有一朵枯萎的黄槿花恰巧从树上落下，橙黄色的黄槿花依旧十分的好看。在网上搜索黄槿的花语，有“快乐的回忆”和“淡淡的爱情”等解释，我认为，黄槿花瓣的黄色是愉悦，充满活力的体现；而若有若无的花香，就像那爱情一样，看不见摸不到，但确实存在。

まずは鳴門の市の花ハマボウです。ハマボウは高さ 1-5m の低木です。開花時期は 7 月～8 月で、一日しか開花せず、その後はしぼみ落ちます。本当に一日だけなのかと最初は少し疑問がありました。先日、二日連続で同じ場所のハマボウを撮影したあと、これが本当だとわかりました。ちょうど一つの花が木から落ちました。黄色と違ってオレンジ色もきれいです。ネットで調べたら、ハマボウの花言葉は「楽しい思い出」、「淡い恋心」などがあります。黄色は人を喜ばせ、元気を出すことに対し、かすかな花の香りは恋のように、見えないけど、確かに包んでくれると考えています。



接下来就是莲花了。3月份坐电车去德岛市时经过一大片水田，本来认为是种植水稻的没想到是成片的莲藕田。7月开始莲花逐渐绽放，水田里一望无际的莲叶上点缀着无数的莲花，或含苞待放，或已经盛开，或仅仅剩下了莲蓬。微风吹来，莲花和莲叶轻轻舞动，站在田里仿佛置身于童话世界。莲花只在清晨到上午开放，中午开始花朵就渐渐闭合了，想要看花开的话需要早起。

次はハスです。3月に電車で徳島市に行くとき、水田を多く見ました。稲作と思っていましたが、まさかのレンコン畑です。ハスは7月から咲き始め、たくさんのハスの葉っぱに無数の花が綴られています。つぼみであったり、咲いたり、花托だけが残ったりします。風が吹くと、花と葉っぱがダンサーのように動いて、レンコン畑に立つとまるで童話の世界のようです。ハスは午前中までしか咲かなくて、昼以後は花びらが閉じます。早起きの方におすすめです。



本月16日，在大道银天街举行了纳凉市活动，有舞蹈表演、阿波舞以及个人才艺展示比赛等。这里有一辆地震体验车，可以模拟体验在遇到强震时的感觉。道路上方挂满了雨伞，随风摆动。银天街恢复了久违的热闹，周边的小吃商户也排起了长队。可以花上50日元（人民币约2.5元）买一只粉笔，就可以在指定区域天马行空，发挥自己的想象力挥笔创作。在这里遇到了两只柴犬，经同意后，拍下了他们可爱的样子。

7月16日に大道銀天街で納涼市イベントが開催されました。ダンスや阿波踊り、のど自慢大会などが催されました。起震車で地震を模擬体験することもできます。銀天街の上に傘が飾られ、風とともに動いていました。久しぶりに賑やかになって、周りの軽食を売っている店も長い行列ができていました。50円でチョークを買って、指定の地面に絵を描くことができました。ここで2匹の柴犬と出会って、主人の同意を得たうえでかわいい様子を撮りました。



在写这篇《在鸣门》的时候，正迎来“第七波”疫情，鸣门这座小城的感染人数也在不断上升。勤洗手，多通风，戴口罩，避免前往人多密闭的空间，按时作息，适量运动。防范疫情，人人有责。

『在鳴門』を書くとき、第七波を迎えています。市の感染者数も増え続けています。手洗い、換気、マスクの着用、三密の回避などを注意しながら、睡眠時間を確保、適度な運動がおすすめです。

所属：鳴門市文化交流推進課

住所：鳴門市撫養町南浜字東浜 170 (〒772-8501)

TEL：088-684-1214／FAX：088-683-0237

E-mail：bunkakoryu@city.naruto.i-tokushima.jp

作成：吳 世康